

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 22	小学校	音楽	音楽	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 302	小学生の音楽3		

1. 編修の基本方針

編修の趣旨

私たちは音楽科の学習を通して子どもたちに「このような資質・能力を育みたい」と願いました。

- 音楽によって豊かな人生を切り拓く力。
- 音楽の幅広い知識や技能。
- 主体的・対話的な学びによって得られる、汎用性高い学力。

こうした課題に取り組むために、次のようなことに留意して編修いたしました。

基本方針

1

音楽で生活を豊かにする心を育みます。

音楽で社会や身の回りの人々につながる学びを促します。



基本方針

2

音楽科の確かな学力を育みます。

系統的な題材構成と質の高い教材で確かな学びを支えます。



基本方針

3

主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促します。

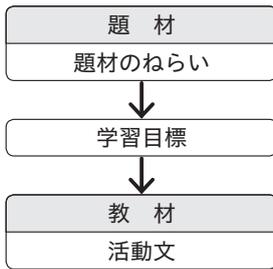
課題意識をもって、友達と対話、協働しながら学習することで、学びの質を深めます。



**1 題材と教材の緊密な関係が、
焦点化した学習を実現します。**

年間で9題材を設定し、それらに密着した教材が、
ねらいの明確な学習を実現します。

●題材と教材の関連イメージ



題材のねらい

題材

(p.42)

2 見やすく、スッキリとした紙面がスムーズな学習を実現します。

インクルーシブ教育の実現
を目指し、特別支援教育や
色覚特性の多様性などの観
点から、白を基調とした紙
面とし、情報の配置にも配
慮しました。

(p.64・65)

3 見通しをもった学びを実現します。

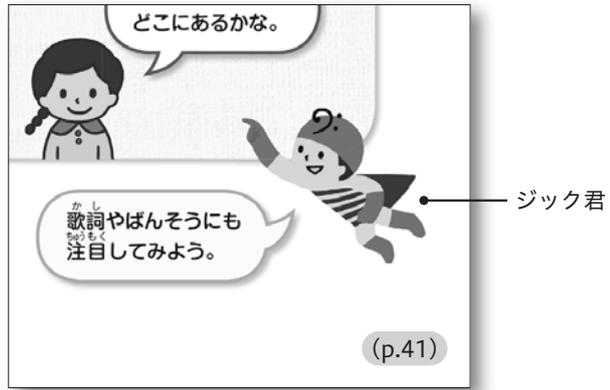
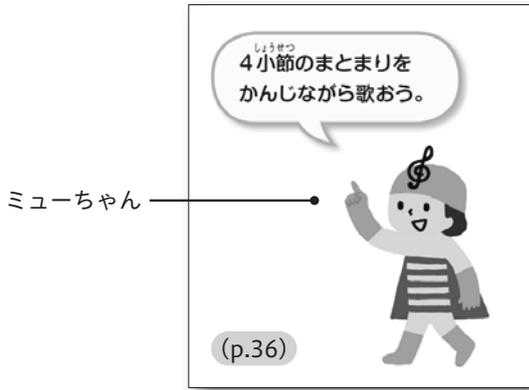
目次の前に、1年間で学ぶ内容を視覚
的に捉えることができるページを設け
ました。

「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」
に分けて示しています。

(p.2・3)

主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促します。
課題意識をもって、友達と対話、協働しながら学習することで、学びの質を深めます。

1 知識の習得や理解の深まり、学びの広がりキャラクターがサポートします。



2 主体的で対話的な学びを軸に学習を進めます。

音楽科の学習は従来から「主体的・対話的」な要素を多く含んでいます。この特性を生かし、「主体的・対話的で深い学び」により迫ることができるよう工夫しました。

くりかえしや変化を使って、まとまりのあるリズムをつくりましょう。

4 左ページのリズムを参考にしながら、リズムを使って、4小節のまとまりのあるリズムをつくりましょう。

考える観点を例示しながら、主体的で対話的な学びを引き出します。

(p.30・31)

特に意を用いた点

国歌「君が代」の尊重

国歌「君が代」への意識を高められるページを、すぐに開くことができる最終ページに設けました。

国歌「君が代」の歌詞にある「さざれ石」について説明し、歌詞を覚えて歌う学習を支えます。

国歌「君が代」

君が代は 千代に八千代に さざれ石の いわおとなりて こけのむすまで

国歌「君が代」をおぼえて歌おう
さしきなどで歌えるように、歌詞やせんりつをおぼえましょう。
歌詞は、日本の国が、ずっと強い国でいて、へいむつづくことを ねがったものです。

さざれ石(砂利) 国史館(国史館)

(p.86・87)

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
①音楽で心をつなげよう	歌を通して友達に対する敬愛を重んずる態度を育成できる教材を掲載しました。(第三号)	p.6
	常時活動としてリズムに関する基礎的な学力を継続的に育成できる学習活動を設定しました。(第一号)	p.7
②歌って音の高さかんじとろう	音高を歌や楽器で確かめながら学習を進められる教材を掲載し、基礎的な事項を音楽活動に関連させて学ぶことができるようにしました。(第一号)	p.8 ~ 12
	音高を工夫しながら、旋律をつくる学習活動を設定しました。(第二号)	p.13
	「茶つみ」に関連して「手遊び」のコーナーや「新茶のお話」などを掲載し、我が国の文化について学習できるようにしました。(第五号)	p.17
③リコーダーのひびきかんじとろう	リコーダーの演奏に興味・関心をもち、確実に演奏技術を習得できるように教材を配置しました。(第一号)	p.18 ~ 27
④拍にのってリズムかんじとろう	リズムの反復や変化を用いて、まとまりのあるリズムをつくる学習活動を設定しました。(第二号)	p.30・31
	「うさぎ」に関連して「十五夜」や「月見」についても説明し、我が国の文化について学習できるようにしました。(第五号)	p.33
⑤せりつのとくちょうかんじとろう	旋律の音高の上下から、旋律の特徴や「曲の山」を感じ取ることができるように絵譜やイラストを工夫しました。(第一号)	p.35, 41
	「ふじ山」に関連して、日本を代表する山である富士山を誇りに思う気持ちや、その自然を大切にする心を育成できるようにしました。(第四号、第五号)	p.38 ~ 41
⑥曲の感じを生かさう	友達と過ごした時間をイメージしながら歌う教材を通して他者への敬愛を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	p.46・47
⑦いろいろな音のひびきかんじとろう	いろいろな金管楽器について知ることができるようにしました。(第一号)	p.48 ~ 51
	様々な音色を用いてつくった「まほうの音」をもとに「まほうの音楽」をつくる学習活動を掲載しました。(第二号)	p.56・57
⑧ちいきにつたわる音楽でつながろう	地域に伝わるお囃子を取り上げ、我が国の伝統文化に触れてそのよさを味わえるようにしました。(第五号)	p.58 ~ 62
	「神田囃子」の一部を唱歌(しょうが)で歌う活動を通して、我が国の伝統的な音楽により親しみをもてるようにしました。(第五号)	p.62
⑨音の重なりかんじて合わせよう	合唱や合奏の活動を通して、友達と協力して活動する場面を設定し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	p.66 ~ 69
歌いつごう 日本の歌	自然や動物の様子を思い浮かべながら歌唱することを通して、生命を尊び、自然を大切にする態度を養えるようにしました。(第四号)	p.70・71
みんなで楽しく	歌を通して友達に対する思いを高められる教材を掲載しました。(第三号)	p.72
	英語の歌を歌うことによって、外国語活動の学習と連携できるように配慮しました。(第一号)	p.77
国歌「君が代」	国歌「君が代」に歌われている「さざれ石」について知ることを通して、国歌「君が代」を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	p.86・87

編修趣意書

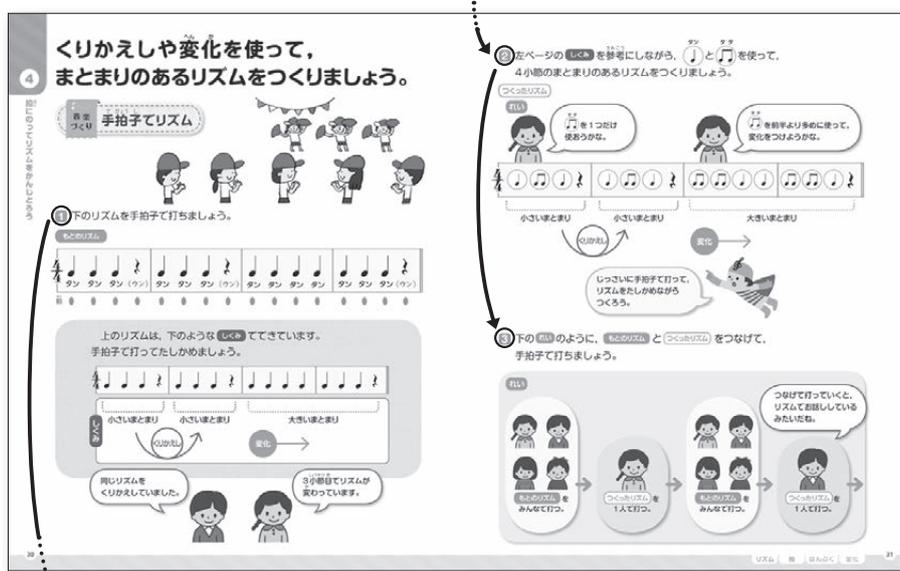
(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30 - 22	小学校	音楽	音楽	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 302	小学生の音楽3		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 学習の流れを見通しながら、スムーズな学習ができる

学習手順を番号で示して、流れを分かりやすくしています。



(p.30・31)

2 系統的な題材構成・題材のねらいに即した教材

学年間のつながりを見通した題材のもとに、題材のねらいに即した教材を配しています。



(p.34, 36, 38)

SAMPLE...著作権の関係で楽譜の一部を見えないようにしています。

3 主体的・対話的で深い学びを引き出す紙面

グループ内で様々な音素材を用意し、それらを組み合わせたり重ねたりする学習を通して、主体的・対話的で深い学びを引き出す活動を設定しました。

7 音のとくちょうを生かして 音楽をつくりましょう。

まほうの音楽

3～4人の組になって、ひびきの長さや音色のちがいを生かして、「まほうの音楽のもと」をつくりましょう。

(1) いろいろな楽器の音を鳴らして、ひびきの長さや音色のちがいをきくらべながら、自分のイメージに合う音をさがしましょう。

トライアングル 半口 ずず であん シンバル ワインドチャイム 小だいこ

(2) ひびきの長さや音色を考えながら、楽器の鳴らし方をくふうして、「まほうの音楽のもと」をつくりましょう。

どんな音色にしたらまほうの感じに合うかな。 まほうがせいこうする感じがする強さをどうすればいいかな。

言葉や図で表した「まほうの音楽のもと」

てっさん	シンバル	トライアングル	小だいこ
シヤラララン	ジャン	チリチリ...	トントントン

2 「まほうの音楽のもと」の組み合わせ方や重ね方をくふうしながら、くりかえしを使って、「まほうの音楽」をつくりましょう。

くりかえして鳴らして、まほうの力が強くなる感じがしようかな。

トライアングルを重ねて、キラキラ光るかんじを出したいね。

さいごに小だいこを重ねて、まほうがかかったかんじを出したいね。

くふうするときには、強さを変えたり、楽器の組み合わせ方を考えたりするといいよ。

3 つくった「まほうの音楽」を入れて、「おかしのすきな まほう使い」(p.54ページ)を歌いましょう。

(p.56・57)

これらの音楽づくりの学習は、プログラミング教育の視点でも活用できます。

4 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点

写真やイラストの上の文字については、デザイン性を考慮しつつ、文字の見やすさにも配慮しました。

背景イラストの模様を抑えて、歌詞の視認性を高めています。

2 音の高さに気をつけて、明るい声で歌いましょう。

- 音の高さに気をつけて、ドレミで歌いましょう。
- 春の様子を思い浮かべながら歌いましょう。

こころのうた 春の小川

♩=100~108 文部省唱歌/高野辰之作詞/岡野貞一作曲

1-2はーるのおがわは さらさら いくよ

きーしの すみれや れんげのはなに えーびや めだかや こぶなの むれに

すーがた やさしく いろうつ くしく きーうも いちにち ひなたで およぎ

さーけよ さけよと ささやきながら あーそべ あそべと ささやきながら

新しくおぼえること

V 息つき(プレス)の記号

この歌には、春の日差しをあびてながれる小川の様子があたわっています。わたしたちも身近な自然を大切に、いつまでものこしていきたいですね。

ドレミで歌おう

↑ 上 ↓ 下

ドレミファソラハニヒト

↑ 上 ↓ 下

ドレミファソラハニヒト

すみれ めだか こぶな れんげの花(レンゲソウ) えび

10 11

(p.10・11)

楽譜の読みやすさを重視し、背景を白地にしています。

5 社会と音楽の関わりへの意識を促す教材

地域に古くから伝わる音楽への興味・関心を引き出します。

8 祭りばやしに親しみましょう。

● 楽器の音や、音楽のふんいきをかんじとりましょう。

祭りばやしは、お祭りをもり上げるための音楽です。日本の各地にはいろいろなお祭りがあり、それぞれとくちうのある祭りばやしは伝えられています。

祇園囃子
京都府



「祇園囃子」は、京都市にある八坂神社で行われる祇園祭の祭りばやしです。祇園祭はとても長いれきしをもつお祭りで、楽器をえんそうする人たちのせた山ほこが町をまわります。

使われている楽器



みんなのすんでいるところにつたわる祭りばやしをきいてほしいね。

ねふた囃子
青森県



「ねふた囃子」は、青森市で行われる青森ねふた祭の祭りばやしです。ねふたは人形などの形をしたもので、おどり手たちや楽器をえんそうする人たちといっしょに町をまわります。

使われている楽器



各地の祭りばやし

弘前ねふた囃子 (青森県)	青森山囃子 (青森県)
おやま囃子 (秋田県)	石坂囃子 (三重県)
長久保台囃子 (埼玉県)	たんじり囃子 (大阪府)
北野囃子 (千葉県)	中野山囃子 (福岡県)
長谷囃子 (東京都)	自由山囃子 (茨城県)

(p.58・59)

6 我が国の文化を大切にする心情を育てる教材

写真や説明文に加え、保存会の方からのコメントも紹介し、親しみをもてるようにしました。

神田囃子ほそん会
立野喜久雄さんのお話



「神田囃子」は、東京都にある神田神社（神田明神）で行われる神田祭の祭りばやしです。

「投げ合い」は、おみこしをかっいて町内をまわるときにえんそうします。おみこしをかっいている人たちをもり上げる「投げ合い」のうきうきした気分を、みなさんもかんじとってください。

(p.60)

神田囃子ほそん会
堀江 剛さんのお話



唱歌は、楽器のリズムや音のかんじを言葉で表したものです。わたしたちは、唱歌を歌ってリズムやせんりつをおぼえてから、楽器をえんそうします。

唱歌をくりかえし歌っていると、自然に曲のかんじをつかむことができます。みなさんも、いっしょに歌ってみましょう。

(p.62)

7 ICT 機器の活用への対応

学習をサポートするコンテンツを、紙面上の二次元コードを読み取ることによって ICT 機器で閲覧することができるようにしました。



夏のふじ山と芦ノ湖 (神奈川県)

上から見たふじ山

QRコード



「ふじ山」に関する説明がある、当社のウェブサイトへ誘導します。

(p.41)

8 教科書の特徴

基本事項	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。 ①音楽で生活を豊かにする心を育む。 ②音楽科の確かな学力を育む。 ③主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促す。
	学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容を網羅しました。
内容	系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、6年間を見通した学習プログラムである「題材」を各学年に設定し、題材のねらいに即した教材を配列して系統的な学びを実現できる内容としました。
	配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●学習をスムーズに進められるよう題材及び教材を配列し、学習内容の分量も適切になるよう配慮しました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●目次とは別に、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習内容について、1年間の学びを俯瞰できるページを設けました。(p.2・3)
	歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の声域や心身の発達段階を考慮して、音域や難易度、歌詞の内容を吟味しました。
	器楽教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、段階を踏みながら確実に演奏技能を習得できるようにしました。
	音楽づくり教材	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の手順を分かりやすく示すとともに、吹き出しなどで児童の考えや工夫の視点を例示することによって、児童の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	教材のユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階に応じて、多くの児童が無理なく取り組める音域や難易度の中で教材を選択・開発しました。
	鑑賞教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階と題材のねらいに即した教材を選択し、学習を進めるうえで有益な写真や絵譜、譜例なども示しました。
	主体的・対話的で深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点を具体的に示しました。(p.30・31, 38～41, 56・57, 64・65)
	伝統と文化の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国の伝統的な音楽に関わる題材を配置し、それらに親しみながら、表現したり鑑賞したりできるようにしました。(p.58～63)
	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解教育や外国語活動の学習との関連から、英語の歌を掲載しました。(p.77)
(共通事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●教材を指導する際の目安となる、[共通事項]に示された音楽を形づくっている要素をページ下に表示し、「ふりかえりのページ」でも一覧できるようにしました。 	
その他	ICT 機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●紙面上の二次元コードから URL を読み取ることによって、指導に役立つ画像などのコンテンツを閲覧できるようにしました。
	特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家から助言を得て、楽譜や文字の配置や見せ方を工夫し、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。 ●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けが付きにくい児童の色覚特性にも配慮した配色にしました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないよう工夫しました。
	文字・印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないよう配慮しました。 ●印刷は鮮明で、製本は開きがよく安全で堅牢な「糸中綴じ方式」を採用しました。6本の糸はそれぞれ独立しており、うち1本が損傷しても影響はごく軽微です。

2. 対照表

図書構成		学習指導要領の内容																			
ページ	教材名	歌唱					器楽					音楽づくり				鑑賞		〔共通事項〕			
		ア	イ	ウ			ア	イ	ウ			ア	イ	ウ	ア	イ	ア (要素)	イ (仕組み)			
				(ア)	(イ)	(ウ)			(ア)	(イ)	(ウ)								(ア)	(イ)	(ア)
6	友だち	○	○	○	○	○												○			
8	ドレミで歌おう			○	○				○										○		
10	春の小川	○	○	○	○	○													○		
12	海風きって	○	○	○	○	○			○		○	○			○	○			○	○	
14	茶つき	○	○	○	○	○													○		
18	リコーダー／◎ピタゴラスイッチ								○	○	○						○	○	○		
25	きれいなソラシ					○		○	○	○									○		
25	◎きらきら星																○	○	○		
26	坂道／雨上がり／アチャパチャノチャ					○		○	○	○									○		
28	ゆかいな木さん	○	○	○	○	○	○		○		○								○		
30	手拍子でリズム											○	○		○	○			○	○	
32	うさぎ	○	○	○	○														○		
34	とどけよう このゆめを	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○		
36	あの雲のように	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○		
38	ふじ山	○	○	○	○	○													○		
42	◎メヌエット																	○	○	○	○
44	山のポルカ					○	○	○	○	○	○								○		
46	帰り道	○	○	○	○	○													○	○	
50	◎トランペットふきの休日／ ◎アレグロ																	○	○	○	○
52	パフ					○	○	○	○	○	○								○		
54	おかしなすきな まほう使い	○	○	○	○														○		
56	まほうの音楽							○				○	○	○	○	○	○		○	○	
58	◎祇園囃子／◎ねぶた囃子																	○	○	○	
60	◎神田囃子「投げ合い」																	○	○	○	
63	たいこにちょうせん!!							○		○									○		
64	ラドレの音でせんりつづくり									○		○		○	○				○	○	
66	歌おう 声高く	○	○	○	○	○													○	○	
67	◎かね																	○	○	○	○
68	エーデルワイス					○	○	○	○	○	○								○		
70	歌いつごう 日本の歌	○	○	○	○	○													○		
72	こころパレット	○	○	○	○	○													○		
73	おはようおはよう	○	○	○	○	○													○		
74	にじ	○	○	○	○	○													○		
75	ゴー ゴー ゴー	○	○	○	○	○													○		
76	また あそぼ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○	
77	Head,Shoulders,Knees And Toes	○	○	○	○														○		
78	ゆかいなまきば					○	○	○	○	○	○								○		
79	よろこびの歌					○	○	○	○	○	○								○		
80	ミッキーマウス マーチ					○	○	○	○	○	○								○	○	
86	国歌「君が代」	○	○	○	○	○													○		

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30 - 22	小学校	音楽	音楽	第3学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 302	小学生の音楽3		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
84	ステップアップ 休符と名前	1	第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(9)に関連して、音楽にかかわる用語について、より知識を広げる。	0.25 ページ
85	ステップアップ イ短調の音階	1	2 内容 A表現(1)ウ(ア)及び(2)ウ(ア)の「ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能」と関連して、音階の種類について、より知識を広げる。	0.25 ページ
			合計	0.5 ページ

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容